

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号				担当課等	温泉課					
事務事業名	経営戦略策定事業									
予算科目コード	会計		款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
								○	
目的	公営企業が健全で安定したサービスを提供し続けるために、老朽化対策などに備えて施設の現状を把握し、中長期的に必要な投資の試算、財源の試算から、収支にギャップが発生するような場合は、課題対処、健全経営に向けた取り組みを考えるための経営戦略を策定するもの。								
対象	温泉事業								
内容	施設の長寿命化、統廃合、過剰・重複投資の見直し、維持管理の合理化・効率化、民間活用を通じた新技術の導入、サービス内容の向上などを策定内容に盛り込み、将来に向けた経営の方向性の検討材料とするもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費		5,600,000	6,172,000		
	人件費		301,560	309,310		
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	301,560	309,310		
	総事業費	0	5,901,560	6,481,310		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	5,901,560	6,481,310		
	財源合計	0	5,901,560	6,481,310		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 総務省より令和2年度までに策定することとなっている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 今後の経営方針を定めるものであり、健全な公営企業運営に必要なものである。類似する計画策定は無い。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 初年度は過去の状況分析を行い、今後の方向を定める指針となっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 安定した公営企業運営は、安定した温泉供給につながり、温泉利用者の利益となり、町全体の発展につながる。
平成30年度までの自己評価または改善点	当初の計画通り進んでおり、概ね順調である。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	経営戦略の策定については、総務省が令和2年度までに策定を要請しており、施設の見直しを含め投資試算、財源試算の将来予測、財源確保の方策など、総合的な戦略プランを策定する必要があるため、コンサルに委託。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	コンサルに委託 (平成30・令和元年度の2年間)	
令和2年度以降の方向性	平成30年度に業務委託し、令和2年3月10日までに委託完了予定。	

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	令和2年3月10日までに委託完了予定。
------	----------	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課						
事務事業名	源泉設備事業								
予算科目コード	会計	款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	老朽化した源泉施設の維持管理を計画的に行い、安定供給に努めるもの。								
対象	町温泉事業								
内容	源泉の改修 老朽化したコンプレッサーの更新								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	7,950,000	14,612,400	17,220,000		
	人件費	160,568	180,936	185,586		
	非常勤職員等					
	人件費合計	160,568	180,936	185,586		
	総事業費	8,110,568	14,793,336	17,405,586		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	8,110,568	14,793,336	17,405,586		
	財源合計	8,110,568	14,793,336	17,405,586		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町源泉から揚湯するためには、源泉設備の維持管理及び更新は必要不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した源泉施設を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。
平成30年度までの自己評価または改善点	老朽化した源泉施設から順次、定期的・計画的に更新してきた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があり導入には至っていない。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した源泉施設から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和2年度以降の方向性	老朽化した源泉施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。	

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した源泉施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な維持管理に努めていただきたい。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課								
事務事業名	流入設備事業										
予算科目コード	会計	款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成	11	年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	老朽化した流入施設の改修を行い、漏湯事故を未然に防ぐとともに安定供給に努めるもの。								
対象	町温泉事業								
内容	集湯ポンプ所ポンプの改修								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
	事業費	0	4,524,444	2,200,000	
コスト 人件費	常勤職員	0	180,936	185,586	
	非常勤職員等				
	人件費合計	0	180,936	185,586	
総事業費	0	4,705,380	2,385,586		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	4,705,380	2,385,586	
財源合計	0	4,705,380	2,385,586		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 温泉を町管理の本管へ流入するためには、流入設備の維持管理及び更新は必要不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した温泉施設を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。
平成30年度までの自己評価または改善点	老朽化した流入施設から順次、定期的・計画的に更新した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があり導入には至っていない。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した流入施設から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和2年度以降の方向性	老朽化した流入施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。	

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した流入施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な維持管理に努めていただきたい。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課						
事務事業名	送湯及び給湯設備事業								
予算科目コード	会計	款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	老朽化した送湯及び給湯設備を計画的に改修するもの。								
対象	町温泉事業								
内容	配湯管の改修 送湯ポンプの改修 貯湯槽の改修								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	9,054,800	11,393,244	8,440,000		
	人件費	481,705	482,496	494,896		
	非常勤職員等					
	人件費合計	481,705	482,496	494,896		
	総事業費	9,536,505	11,875,740	8,934,896		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	9,536,505	11,875,740	8,934,896		
	財源合計	9,536,505	11,875,740	8,934,896		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 温泉を、送配湯管を経由し配湯先まで配湯するためには、送配湯管の維持管理及び更新は必要不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した温泉施設を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。

平成30年度までの自己評価または改善点	老朽化した送配湯施設から順次、定期的・計画的に更新した。
---------------------	------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があると導入には至っていない。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した送配湯施設から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和2年度以降の方向性	老朽化した送配湯施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。	

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した送配湯施設の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。
------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な維持管理に努めていただきたい。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号		担当課等	温泉課						
事務事業名	固定資産購入事業								
予算科目コード	会計	款	01	項	01	目	03	事業開始年度	平成 11 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P38 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	2 温泉	(1) 温泉資源の適正管理	① 町営温泉集中管理の推進・効率的な企業経営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	源泉用地等及び機械等の固定資産の購入								
対象	町温泉事業								
内容	源泉用地等施設の購入 機械及び備品ほか購入								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	4,526,770	16,315,962	46,550,000		
	人件費	160,568	180,936	185,586		
	非常勤職員等					
	人件費合計	160,568	180,936	185,586		
	総事業費	4,687,338	16,496,898	46,735,586		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	4,687,338	16,496,898	46,735,586		
	財源合計	4,687,338	16,496,898	46,735,586		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 温泉を配湯先まで配湯するためには、施設の固定資産の維持管理及び更新は必要不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 老朽化した温泉施設の固定資産を定期的・計画的に更新することにより、漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 漏湯等の事故を未然に防ぎ、温泉の安定供給が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 町温泉施設から配湯を受けることは、受益機会均等である。

平成30年度までの自己評価または改善点	老朽化した固定資産から順次、定期的・計画的に更新した。
---------------------	-----------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	温泉事業の全体又は施設の維持管理等の部分的な業務について第三者委託は可能ではあるが、費用等を含め検討する必要があるため導入には至っていない。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	老朽化した固定資産から順次、定期的・計画的に更新する。	
令和2年度以降の方向性	老朽化した固定資産の維持管理を定期的・計画的に行い、安定供給に努める。	

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	老朽化した固定資産を定期的・計画的に購入し、安定供給に努める。
------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--